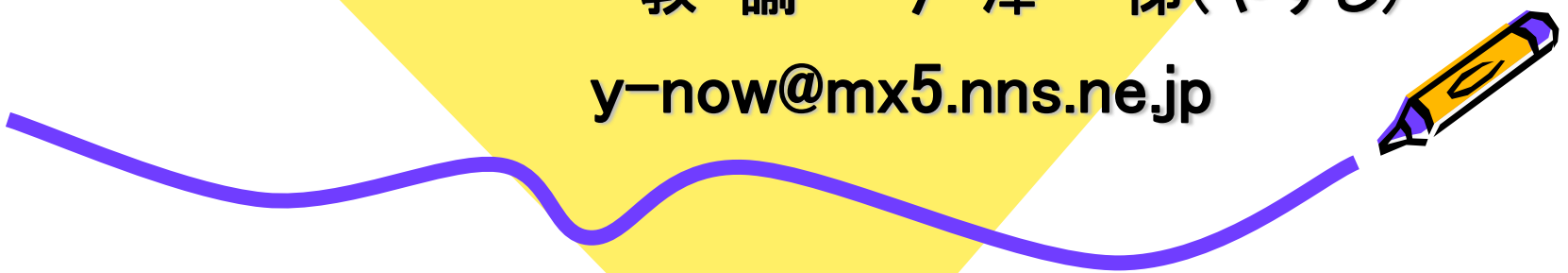


子どもの日本語教育研究会
第3回ワークショップ in 山梨
パネルディスカッション

「小中学校での日本語指導経験から
～将来を見据えた支援とは？～」

甲府市立大国(おおくに)小学校
教諭 今澤 悌(やすし)

y-now@mx5.nns.ne.jp



特別措置による受験生徒数・入学許可者数

18入学 全日制 6名受験 5名合格(1,2倍) * 一般倍率(1,08倍)
定時制 2名受験 0名合格(×倍) * 一般倍率(1,20倍)

17入学 全日制 7名受験 7名合格(1,0倍) * 一般倍率(1,08倍)
定時制 5名受験 2名合格(2,5倍) * 一般倍率(1,33倍)

16入学 全日制 13名受験 9名合格(1,44倍) * 一般倍率(1,11倍)
定時制 3名受験 1名合格(3,0倍) * 一般倍率(1,33倍)

15入学 全日制 10名受験 8名合格(1,25倍) * 一般倍率(1,10倍)
定時制 1名受験 1名合格(1,0倍) * 一般倍率(1,36倍)

14入学 全日制 7名受験 4名合格(1,75倍) * 一般倍率(1,08倍)
定時制 <データなし(HP上)> * 一般倍率(1,35倍)

13入学 HP上 データなし

12入学 全日制 13名受験 12名合格(1,08倍) * 一般倍率(1,10倍)
定時制 6名受験 3名合格(2,0倍) * 一般倍率(1,50倍)





高校の「在籍率」

15～19歳(5年間)
外国人登録者数

高校教育(3年間)

16歳～18歳
外国人登録者数の推計

$$707 \div 5 \times 3 = 423$$

$$423 - 111 = 312$$

16歳～18歳
外国人登録者数の推計

高校に在籍する
外国籍児童生徒数

高校に通っていない
外国籍の子どもの推計

423人中111人が高校在籍

外国籍の子どもたちの**高校「在籍率」の推計 = 26.2%**

(一般の高校進学率 = 98.5%)

※外国人登録者数 = 法務省調査2010

※学校に在籍する外国籍児童生徒数 = 県教委調査2010



日本語指導の実際から見てきたもの



R君の事例

- ・小学校6年生の1学期に来日。
- ・日常会話はすぐに習得。成績も
- ・中学進学後、勉強に困難を感じ
中学を「やめる」
- ・14歳で工場のラインの仕事

Bさんの事例

- ・小学校5年生の時に来日
- ・日常会話は問題なし
- ・「授業中、先生の言っていることが全然わからない。時間を無駄にしているようでつらい」
- ・中学を「やめて」母親の努める
製造業のパートへ

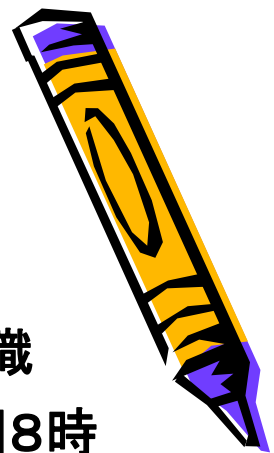
◎授業についていくことの困難さ

◎「中学をやめる」ことを本人が選択、学校が承諾

学校が「受け皿」になりえていない
「受け皿」は児童労働



日本語指導の実際から見えてきたもの



Mさんの事例

- ・ 中学2年の3学期に来日
- ・ 1年後、定時制高校を受験
- ・ 結果は不合格
- ・ やつとの事で1日4時間のバイトの仕事に
- ・ 2時間しか働けず、やめて「ブラック」企業へ

Aさんの事例

- ・ 中学3年の3学期に来日
- ・ 中学編入がかなわず就職
- ・ 15歳で、夜7時から翌朝8時までの、未成年・夜間・長時間労働の仕事＝「ブラック企業」

Sさんの事例

- ・ 中学2年の1学期に来日
- ・ 定時制高校を受験。不合格。
- ・ 廃品回収の仕事をしながらか、日本語学習と高校進学をみざすが挫折。

◎高校進学の厳しさ

◎中卒就活の厳しさ

◎行き場は不安定な職
や「ブラック」

中学卒業者の「受け皿」が社会にない。

「受け皿」づくりの必要性、高校進学の重要性



対象者は「子ども」

= 発達途中、成長途中

☆ ことばだけの問題ではない

= 認知力、思考力、技能、社会性等を伸ばすべき時期

→ ことばと共に教科学習、学習活動を通して、
これらの力を伸ばしていく必要がある。

☆ 「今」だけの問題ではない

= 「将来」(進路、進学、ライフチャンス)を見通した支援

→ 高校入試の高い壁 「とにかく高校へ・・・」

→ 数学: 「1番対策」、ひたすら計算問題・・・

→ 面接: 「とにかく丸暗記しよう!」・・・

→ 高校に行けなかった子たちは・・・

→ 高校に行けても、発達段階に応じた
「力」は?・・・

「将来」を見据えた支援って?・・・